

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 78 号 2019 年夏号

<http://nadogaya-biotope.com/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415



脱皮直後のヤブキリ
(左側の白いものが
抜け殻)



オオシオカラトンボ



ハグロトンボ

春の生態調査実施

2019.6.19(水)9時～10時 晴れ 気温27℃

春の生態調査を実施し、篠崎さん、松清さん、高橋さん、小笠原さん、そして藤平と5名参加。ビオトープゾーンを回り捕虫網で取った昆虫などを確認しました。ニホンアカガエルの成体2匹も観察、Bゾーン北側の木の枝には珍しい「脱皮直後のヤブキリ」を観察しました。又Aゾーン北側湧水池にフナ1匹を発見、捕獲して水路に放しましたが誰かが放したものです。当日の確認種は42種で前年より若干減っていますが、自然環境保全は維持されていると思います。(藤平 三郎)

ハイケボタル観察会の実施

今年のホタル観察会を3回行いました。それ以外に会員の皆様から5回発光確認のメールがあり、詳細は右記の通りです。4月20日に120匹の幼虫を放流しサカマキガイ、カワニナなどの餌をまいてきました。今年はどうか心配でしたが6月16日7匹を始め、6月19日には過去最高の10匹を確認し一部は飛翔もし、市民の方、会員も大喜びです。今年はずっと継続して多く確認できました。2017年から放流場所を現地に代えて3年目、生息環境条件が合ってきたものと思います。また来年も期待です。(藤平 三郎)

	観察日	担当	区	参加人数	その他
第1回目	2019/6/16	藤平	7	3 (市民 1)	ホタル水路周辺 19時45分～20時
	2019/6/17	山村	7～8	2	20時～20時半 一部飛翔
	2019/6/19	小笠原	10	3	一部飛翔
第2回目	2019/6/22	藤平	7	11 (市民 3)	19時45分～20時 小雨 桜の木の下
	2019/6/23	高橋	6～7	6 (市民 4)	19時30分～20時 一部飛翔
	2019/6/25	佐藤	7	2	19時30分～20時 一部飛翔
	2019/6/26	小笠原	9	3	
第3回目	2019/7/1	藤平	6	2	ホタル水路周辺、柳の木 19時30分～20時



小笠原さんが飛翔中を撮影



藤平が4年前Bゾーンで撮影

田の草取りを取って追肥をしました

無農薬栽培で毎年コナギとの戦い(?)ですが、今年も会員での草取りと早朝草取りを行い、昨年よりは成果が上がりました。梅雨も長かったので、コナギの成長も進まなかったようです。稲の成長で跨いで歩くと茎が折れてしまうので、「熊手」を竹の先に付けて残っているコナギを取り続けました。そんな中でもイナゴは元気に飛び跳ねています。6月8日に「カリ肥料」の散布、7月10日には「穂肥」の追肥を田んぼの面積に合わせて計量散布しています。(小笠原 智)

梅雨明けが遅れ、 穂の出も遅れたので ネット張りも 遅れました

「うるち稲」の穂が7月28日、「もち稲」の穂は8月3日(昨年より千葉産の品種にしました)と昨年より7日ほど遅れました。そのせいかスズメの出現も遅れ、盆休み過ぎの25日にうるち田のみ張りしました。28日にははざがけも組み立て始めました。(小笠原 智)



やっと稲の花が咲きました

梅雨の合間に木道上にコオロギが集団で日向ぼっこをしていました



田んぼが深いので草取りも大変です



穂用の追肥(有機肥料)も計量して散布します

「ぼーと生きてんじゃねーよ」 と叱られないように

今年も案山子を作りましたが、今話題の「チコちゃん」と女子テニス世界ランキング一位の「大坂なおみ選手」です。キョエちゃんもいますよ。(小笠原 智)



ザリガニ釣り場が渇水寸前でした

今年の梅雨明けが7月末と長かったですが、柏ではまとまった雨が少なく盆前にはザリガニ釣り場が渇水寸前になりました。水がある時には、ボーイスカウトや近隣の保育園児、

家族でのザリガニ釣りが賑やかに行われています。池に足を入れてしまい、ドロンコ洗いの救援依頼も時々あります。（小笠原 智）



ザリガニ釣り場も渇水寸前なのでヨシやガマを刈り取っています



ボーイスカウトや近隣保育園のザリガニ釣りは大騒ぎです

「名戸ヶ谷ビオトープ」 ～作業のさいのかっこう～

あたまは、日差しからまもるため、帽子を忘れずに。

上半身は、草にかぶれたり虫にさされたりしないように、長そでを着るか、てっこうをする。(写真は半そででNG)

その他の持ち物
ゴム手ぶくろ
軍手

泥んこになってもいいように、着がえ、タオルも忘れずに！



モデル 高橋 Jr.

腰にはベルトをして、長ぐつの上から出ているひもを、ひっかける。こちらも、長ぐつがぬげないように。

長ぐつは、土が深いので、ひざの上まであるもの。足の先は、ビニールひもか、平ゴムで、8の字にしぼる（足を土から引き抜くとき、長ぐつがぬげないため）。

3年ぶりにホソバオグルマが咲きました

7月末、作業場の奥にあるメダカ池の隣にホソバオグルマの花が咲きました。

3年前に大津川河口の水田の脇の自生地から一時的にビオトープに移植して、観察と保護を続けてきたものです。その年の夏には見事な花が沢山見られましたがその後、葉はたくさん出るものの虫に食われたり、周りの草に埋もれたりして開花しませんでした。やっとこの夏、3本咲いてくれました。

暑い盛りでしたので多くの方には見ていただけなかったかもしれません。



2019年7月



2019年7月

ホソバオグルマは日当たりのよい湿地や湿った野原に育つキク科の多年生の植物で一見どこにでもある野の花のように見えますが

実は環境省のレッドリストの絶滅危惧Ⅱ類(VU)、千葉県では要保護生物に指定されている種なのです。東京都や神奈川県では絶滅したとも書かれています。柏市内では大津川河口、大堀川河口、利根川等数か所で見られます。特徴は放射状に広がる細く黄色い花びら。その名の通り細い葉が印象的です。



2019年7月 (佐々木撮影)

自生地では写真のように草丈が60cmから70cmほどにもなり、群れて咲いている様子は青空によく映えます。

ビオトープのホソバオグルマは地下茎を伸ばして離れたところにも芽を出していますので少しずつ花の数を増やしてくれるでしょう。

(山村 和子)

月例活動状況のお知らせ

2019年6月から8月までの会員の月例活動状況をお知らせします。

6月15日(土)

6月は一日中雨のため月例活動は中止になりました。

7月20日(土)

会員13名の参加のもと主にBゾーンのヨシ、セイタカアワダチソウの刈り取り作業と鈴木邸前の草の刈り取りを実施しました。この時期、草木の成長が早く、先月作業ができなかった事もありBゾーンのヨシやセイタカアワダチソウのほかつる草も多く発生していました。



Bゾーンのセイタカアワダチソウ、ヨシ、つる草の刈り取り風景

8月17日(土)

この日、朝から30度を超える暑い日でしたが、10名の会員の参加のもと、Bゾーンのヨシやセイタカアワダチソウやつる草の刈り取り作業に従事しました。その他鈴木邸前の草刈りや、市道脇の草刈り、畦の草刈りも実施しました。(菌田 廣満)



Bゾーンのヨシやミントの刈り取り風景



市道脇の雑草刈風景

ビオトープ文庫の創設

この度、作業小屋の中に「ビオトープ文庫」を創設しました。

現在、16冊の本が所蔵されています。

読みたい方は備え付けのノートに必要事項を記入してお持ちください。

(総務担当 鈴木)



書籍名

1. 日本の野鳥
2. バッタ・コウロギ。キリギリス生態図
3. フィールドガイド日本の野鳥
4. 野鳥と自然の解説
5. 水辺の生き物
6. (ハンディ図鑑) 水辺の鳥
7. (ハンディ図鑑) 山野の鳥
8. 柏の自然発見
9. 野鳥ガイドブック
10. 野外ハンドブック樹木 1
11. 野外ハンドブック樹木 2
12. APG 牧野植物図鑑 I
13. APG 牧野植物図鑑 II
14. 野に咲く花
15. 街で見かける雑草や野草がよくわかる本
16. 田んぼの営みと恵み
17. ため池と水田の生き物図鑑
(動物編・植物編)
18. トンボのすべて
19. 田んぼビオトープ入門
20. 柏市自然環境調査報告

6～8月の活動予定

- 9月 ●8日 稲刈り
●21日 9月定例活動日・生きもの観察会
- 10月 ●上旬 脱穀作業
●9日 秋の生態調査
●19日 10月定期活動日
- 11月 ●上旬 収穫祭
●16日 11月定例活動日

注) 詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約 4,400 m² 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物 26種）

(2013年、年間を通じて観察した生きものの種類)